

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

令和6年度 第1弾の講演会です。 「技術士を知ろう！ in 北海道科学大学」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2024年度の活動第1弾は、2016年度から講演を行っている北海道科学大学(北科大)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：2024.6.13(木) 13:00～14:30

講義内容：技術士について

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：都市環境学科 1年生 計32名

参加幹事：小澤、木本、森若、千葉(記)(ミライ研4名)。笹森(青技交1名)。

北科大での講演は、都市環境学科の細川先生・松田先生の力強いバックアップがあって、これまで実施できています。特に今回の開催にあたっては、当方都合に合わせて開催日を決定して頂き、ベストメンバーで講演会を実現することができました。

3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

小澤代表には、学生達を引き付けるためにある秘策がありました。キムタク主演のドラマで「技術士」が記載された名刺の一場面を繰り出したのです。残念ながら一人の学生もそのドラマを見ておらず、あえなく轟沈です。笑

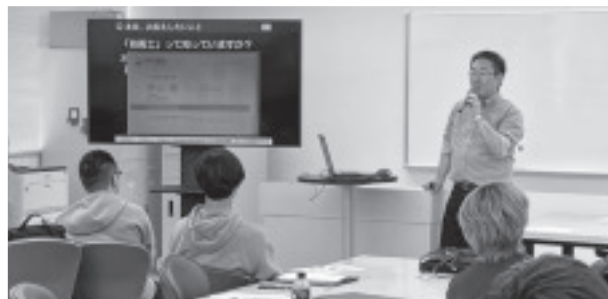


写真-1 学生達を掴み切れなかった小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士補の仕事(森若技術士補)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは北科大(旧道工大卒)OGで、西日本技術開発(株)に勤務する森若技術士補から講演を行いました。発電に使用された水を排水する際に、海に生息する生き物に影響を与えないため、水温差や温排水拡散範囲等の基準がある事。調査日の設定では、潮位差が大きい大潮且つ下げ潮時に、発電出力および放水量が最大となる時間帯を選ぶことなど、自身が経験した課題解決方法を紹介してくれました。

実は森若さん、昨年結婚されて現在福岡にお住まいなのですが、今回の講演のためにわざわざ母校へ駆けつけてくれました。その後輩思いの気持ちは、多くの学生達にも届いていたと思います。



写真-2 来道してくれた森若技術士補(ミライ研 幹事)

(2) 技術士の仕事(笹森技術士)

続いて北科大(旧道工大卒)OBで、(株)エコテックに勤務する笹森技術士から、「河川の仕事」と題して講演を行いました。「チュウヒの保全と草刈り」というトレードオフの課題について、ミティゲーションの5段階のうち「最小化」を選択し、低減『馴化』に取り組んだ課題解決方法を紹介。難しい専門用語も学生に理解しやすいように、写真や図を基にした丁寧な説明を行いました。

笹森技術士の芯は、「大自然の北海道で、川に学び、自然に学び、明日の世代に自信を持ってつないでいける川づくり」であると語り、最後にOBとして「おもしろいと思ったことをどんどんやってみて」とメッセージを送っていました。



写真-3 「河川」を語る笹森技術士(青技交 幹事)

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

入学間もない学生達向けに、北海道内の施設事例等を用いて様々な仕事があることを知ってもらおうと用意してくれました。

実は木本技術士は、後期の授業から北科大1年生の非常勤講師を担当(「土木と環境」)することになっており、学生達との再会を約束していました。



写真-4 非常勤講師も兼ねる木本技術士

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では、「私も環境と土木についてこれから学びたいと思った」、「河川の仕事の中でも環境に関する仕事で、私はとてもやりがいがありそうな仕事だなと感じた」、「自分の知らない分野を学ぶことが自分をもっと強くしてくれるという部分にとっても共感できた」といった、今後の就職活動に直結するような質問や、実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。



写真-5 学生達からの質問に答える先輩達

7. まとめ

学生からの感想には「技術士の資格を持つことによって、仕事をする上で発言する言葉の重みがあることがわかった」、「学生の間に技術士補の試験を受けてみようと思った」、「今日の講演で技術士を知ることができた。取得が難しい資格ではあると思うけど目指したいと思った」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、32人中31人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、32人中29人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。

また、「いろいろな分野の仕事があっておもしろいと思った」、「大学生活でたくさんのことを学び、多くの人と関わり、心がときめくものを大切にしていきたいと思った」、「好きなことなどを仕事にしたい」、「自分も将来好きなことで仕事をしたいと思った。」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演のわかりやすさ「満足度」は5段階評価でいずれも平均で4.6、4.7と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。